

子供宝也

No.6

平成 26 年 4 月 29 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

はじめての給食：1ねん5くみ

いよいよ1年生の給食が始まりました。初日は、担任の先生から応援要請があり、私も教頭先生も他のいろいろな先生も緊急出動です。私は1年5組担当でした。

担任の先生は、当番の子どもたちに白衣を着せて、並ばせて、手をつながせて、給食室へ行きます。私は当番が帰ってくるまで、教室で子どもたちを静かに待たせる役です。ありがとうございます。みんなマスクをして、ちゃんと椅子に座って、静かに待っていました。

当番が帰ってきました。ごはんは給食室の方が運んできてくださって、お皿に入れてくれます。その上にカレーをかけていくのが次の私の仕事です。ごはんは、ほんのちょっぴりです。カレーもちょっぴり。スプーンや牛乳も配り終わりました。当番の子どもたちの苦労が始まります。白衣をたたんで袋の中に入れてはなりません。他の子どもたちは…ありがとうございます。ちゃんと待っています。「先生、全部食べた。」「先生、牛乳こぼしちゃった。」「先生、おいしい。」子どもたちは何でも報告してくれるのです。

担任の先生は、食べるヒマがありません。私にはできないなあ。若い頃、来年は1年生を担当させてくださいと校長先生にお願いしたことがあります。「アカン。子どもが学校へ来んようになる。」と言われました。もし、その時1年生を担当していたら、子どもたちより、私が先に学校へ来んようになっていたかもしれません。

何はともあれ、無事、楽しく「ごちそうさまでした。」でした。

靴をきちんとそろえられる子に！：4年4組

第4号でお知らせしました「武庫東小学校5つのきまり」の中に、『はきものをきちんとそろえる。』というのがあります。

「自分の履物をそろえることは、そのまま自分の心の整理整頓になります。脱ぐ前にそろえておくと履くときに心が乱れない。自分で履物をきちんとそろえて脱げるようになったら、他人の履物の乱れも直せます。どんなに忙しいときでも、履物をそろえて脱ぐ、心のゆとりが欲しいものです。」こんなふうと言われる方がいらっしゃますが、有名な教育学者、森信三先生も、「子どもをしっかりとしたおとなに育てるには、3つのことができればよい。」として、その一つに「履き物をそろえること」とおっしゃっています。

先日、靴箱の中を見ていると、4年4組の靴箱が特別に美しいのです。ちゃんとかかとが揃って、真っ直ぐに並んでいました。うれしくなって、急いで校長室に戻って、表彰状を作っていました。それほどきちんとはきものが揃えられていたのです。

家の玄関を見ると、住んでいる方の生活がわかるとも言われます。運動場で遊んだ後、靴を落ち着いて靴箱にしまうことは、遊びから学習への切り替えでもあると思います。

これからも、がんばってほしいです。そして、心に余裕をもった学校生活を送って欲しいと思いました。